

### ①表現力における課題

困ったときやイライラした時に、自分の気持ちを表出することが難しい。

### ②身に付けさせたい力（目標）

困ったときやイライラした時に、自分の気持ちを言葉で伝えることができる。

福岡市教育センターの「コミュニケーション内容表」の中の項目を参考にしています。

■でチェックを入れてください

#### ①場面

- ・どんな場所で
- 遊びエリア
- 勉強エリア
- 食事
- その他（            ）
- ・誰に
- 教師
- 友だち
- 教師以外の大人

#### ②内容

- 模倣（表現・行動等を模倣）
- あいさつ
- 発信行動（～下さい。～欲しい）
- 拒否（いや。～しない。～できない）
- 要求（～ください。～欲しい）
- 称賛（すごいね。頑張ったね）
- 注意喚起（〇〇が落ちているよ）
- 情報提供（〇〇があるよ。〇〇見て）
- その他

#### ③形態

- 動作
- サイン
- 絵・写真
- 発声
- 言葉
- 文字（単語・文章）
- その他

### ③その力を伸ばしていくための指導・支援方法

困ったときやイライラした時の場面で、「〇〇先生、手伝って下さい。」「静かにして下さい。」の言葉を教師と一緒に言ったり、何と言ったら良いのか考えさせ、言葉で伝えるように促したりする。言えた時に肯定的な評価をする。

### ④結果（口にチェック）

(1) 変容が見られたか

■見られた。

成果…困る状況を意図的に作り、その状況でどうしたらよいか考えさせることで、「〇〇先生、手伝って下さい。」等と言言葉で伝えることができるようになってきた。また、自分の気持ちを言葉や身振りで表出することで、イライラを他者にぶつけることが少なくなっている。

課題…困ったときに教師だけではなく、友だちにも声掛けができるようになってほしい。

□見られなかった。

課題…

(2) 場面が変わっても見られたか。（例えば校外学習、職場体験、家庭等で）

■見られた。（場面：グループ学習の場面）

□見られなかった。

※各クラス1名の児童について使用してください。

参考資料：発達障害支援ハンドブック～幼児期・学齢期支援編～（発行：広島県）  
「表出コミュニケーション支援シート」

前期の「④結果」を踏まえ、課題となることについて書く。  
前期の目標が達成されてない場合は、前期の目標を書く。

①表現力における課題

困ったときに「〇〇先生、手伝って下さい。」と助けを求めることができるが、近くにいる友だちに声を掛けることが難しい。

②身に付けさせたい力（目標）

困ったときに、教師だけではなく、友だちにも助けを求めることができる。

■でチェックを入れてください

①場面

- ・どんな場所で
- 遊びエリア
- 勉強エリア
- 食事
- その他（            ）
  
- ・誰に
- 教師
- 友だち
- 教師以外の大人

②内容

- 模倣（表現・行動等を模倣）
- あいさつ
- 発信行動（～下さい。～欲しい）
- 拒否（いや。～しない。～できない）
- 要求（～ください。～欲しい）
  
- 称賛（すごいね。頑張ったね）
- 注意喚起（〇〇が落ちているよ）
- 情報提供（〇〇があるよ。〇〇見て）
- その他

③形態

- 動作
- サイン
- 絵・写真
- 発声
- 言葉
- 文字（単語・文章）
- その他

③その力を伸ばしていくための指導・支援方法

授業の中で、ペアを組めるように役割設定をすることで、友だちとの関わりを持てる場面を増やす。その時に、「〇〇君、手伝って下さい。教えて下さい。」などの言葉を教師と一緒に言ったり、何と言ったら良いのか考えさせ、言葉で伝えるように促したりする。言えた時に肯定的な評価をする。

④結果（□にチェック）

(1) 変容が見られたか

■見られた。

成果…困ったときに、「〇〇君、手伝ってください。」と肩を優しく叩きながら声を掛ける姿が見られた。また、困った状況以外の場面において、友だちと行動したいときには、「〇〇君」と名前を呼びながら手を差し伸べたり、「教えてください。」と自分の要求を伝えたりすることができるようになった。

□見られなかった。

課題…

(2) 場面が変わっても見られたか。（例えば校外学習、職場体験、家庭等で）

■見られた。（場面：グループ学習の場面、校外学習）

□見られなかった。

※各クラス1名の児童について使用してください。

参考資料：発達障害支援ハンドブック～幼児期・学齢期支援編～（発行：広島県）  
「表出コミュニケーション支援シート」